

令和２年度 社会科 ２・３年歴史 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

< 2 > 歴史的分野の目標

- (１) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (２) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (３) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (４) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え、国民としての自覚をもとうとする。
社会的な思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に判断し表現している。
資料活用の技能	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりできる。
社会的事象についての 知識・理解	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。
- ②自主的・自発的な学習の促進。→体験的な学習や問題解決的な学習。 発展的な学習
- ③学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習。
- ④個に応じた指導の充実。→ 個別指導 グループ別指導 繰り返し指導
生徒の興味・関心に応じた課題学習 コンピュータを活用した学習 補充的な学習

社会科 2・3 学年 歴史的分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
6	3 節 幕藩体制の確立と鎖国	◇260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたかについて関心を持つ。 ◇江戸時代の政治制度のあらましと幕府による大名や朝廷の統制について理解する。 ◇江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ◇百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことの意味について考える。 ◇江戸幕府の対外政策の変化について調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。 ◇島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響を理解させる。 ◇長崎でのオランダ・中国との交易、朝鮮との交流や琉球の役割について理解する。 ◇海産物などを交易しながら独自の文化を築いていたアイヌの人々の生活に関心を持つ。	●		●		・260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち、意欲的に追究している。(関心・意欲・態度) ・「おもな大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど、歴史地図を活用している。(技能) ・「身分別の人口の割合」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や生活の様子を調べ、表などにまとめている。(技能) ・江戸時代に確立した身分制度の中での差別が近代や現代にも残っていくことに関心を持ち、差別を許さないという態度を身に付けている。(関心・意欲・態度) ・江戸幕府が 17 世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、禁教、外交関係と情報の統制、大名統制などから考察し、説明している。(思考・判断・表現) ・島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とそれが人々の生活に与えた影響を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解) ・鎖国下の日本と外国との対外関係について、白地図などにわかりやすくまとめている。(技能) ・交易や文化交流に果たした琉球の役割やアイヌの人々の生活に対する関心を高め、現在に残る文化を大切にしようとしている。(関心・意欲・態度)

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
7	4 節 経済の成長と 幕政の改革	◇農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、幕府や藩が産業の発達を奨励した理由を考える。 ◇産業、交通の発達によって貨幣経済が進展し、町人の力が増したことを理解する。 ◇三都をはじめとして、江戸時代に都市が発達した理由を政治や経済のしくみなどから考える。 ◇綱吉の政治の特色を理解し、また文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 ◇幕府政治の改革が必要になった理由を、貨幣経済の広がりなどから考える。 ◇幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起きたことや、その中で差別が強化されたことを理解する。 ◇田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、目的・方法などについて共通点と相違点を考える。 ◇ロシアの接近に対する幕府の外交政策を間宮林蔵らの北方探検を通して理解させる。 ◇国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考える。 ◇寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して、教育への関心が高まってきたことを理解する。 ◇外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、外国船打払令などから理解する。 ◇大塩の乱、天保の改革について調べ、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考える。	●	●			- 江戸時代の産業の様子について関心を高め、身近な地域の郷土資料館などを利用して意欲的に調べている。(関心・意欲・態度) - 産業、交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解) - 江戸時代に都市が発達した理由を、幕府や藩の政治のしくみ、物資の流通などから考察し、説明している。(思考・判断・表現) - 文学作品や図版「見返り美人図」などから、元禄文化の特色を読み取っている。(技能) - 幕府の政治改革の影響について、幕府・諸藩・農民などの立場から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現) 「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど、グラフを活用している。(技能) - 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、政治改革の目的について考察し、説明している。(思考・判断・表現) 「北方探検」をもとに、蝦夷や樺太の探検が行われたことを知り、幕府の対外関係のあり方を理解している。(知識・理解) - 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、新しい学問や文化が生まれた背景を考察し、説明している。(思考・判断・表現) 「藩校と寺子屋の広がり」をもとに全国に教育施設がつくられていったことを読み取っている。(技能) - 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について年表にまとめ、幕府に新たな課題が生じたことを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解) - 大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ、幕府政治が行き詰まっていたことについて考察し、その過程や結果を説明している。(思考・判断・表現)
8			●	●	●	●	

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
9	第5章 近代の幕開け	◇欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ◇明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ◇立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ◇日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。					
9	1 節 近代世界の確立とアジア	◇欧米諸国が、近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解する。 ◇欧米諸国の近代社会の成立の様子に関心を持ち、資料を活用して調べる。 ◇産業革命を経て、産業や社会のしくみが大きく変化したことを理解する。 ◇革命の時代を経て、近代国家を確立する動きが欧米諸国に広がっていく過程に気付く。	●				・欧米諸国の近代化への成立の様子に興味を持ち、意欲的に追究している。(関心・意欲・態度) ・欧米諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
10		◇イギリスを中心とするヨーロッパ諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジア侵略を進めた過程を理解する。 ◇ヨーロッパのアジア侵略とそれに対するアジア諸国の動きを多面的・多角的に考えている。	●				・産業革命を経て、産業や社会のしくみが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現) ・革命の時代を経て、近代国家を確立する動きが欧米諸国に広がっていく過程を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
11	2 節 開国と幕府政治の終わり	◇ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、条約の内容を理解する。 ◇対外政策を転換して開国したことや、開国したことによる国内への影響について、資料を使って考える。 ◇尊王攘夷運動や倒幕への動きなどを調べ、江戸幕府の滅亡までの経緯をまとめる。 ◇開国による政治的・社会的な影響に触れ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付く。	●	●	●	●	・ヨーロッパ諸国のアジア侵略について、その理由や背景を考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を、グラフや地図から読み取り、年表にまとめている。(技能) ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、開国によって日本が資本主義社会へ組み込まれていたことを考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現) ・開国の影響と、条約の内容や不平等な点を理解している。(知識・理解)

